

腸内細菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

この SensiMedia は腸内細菌を迅速に検出できるようにし、検査精度の高い 15~20ml(固形量 15~20g)の検査を可能にしたものです。

2. 概要

腸内細菌は、ヒトや動物の腸管に常在細菌叢として存在していますが腸内の全ての細菌を指すものではなく、無芽胞のグラム陰性桿菌で通性嫌気性の一群とされています。

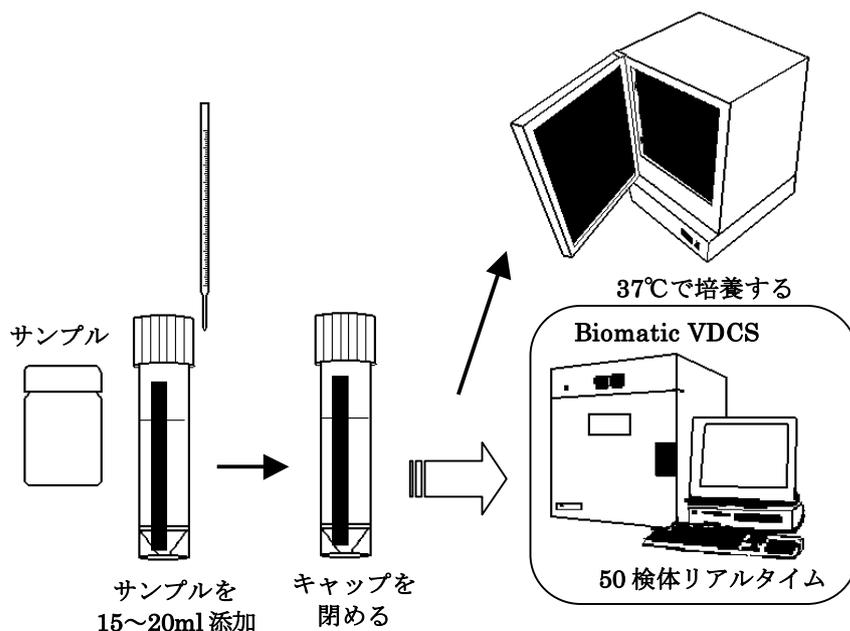
3. 検査の手順 (20℃以上の環境で、クリーンベンチ等の無菌操作をお勧めします。)

3-1 サンプルを準備します。

3-2 SensiMedia のキャップを開け、試料を 15~20ml(固形量 15g~20g)を添加します。

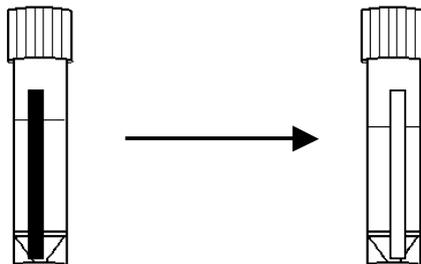
3-3 キャップを閉め、軽く振り混ぜインキュベータ(37℃)で培養します。

Biomatic VDCS をする場合は、50 本をリアルタイムに計測できます。



4. 判定

センサー色が青色から黄色に変われば腸内細菌は陽性と判断します。

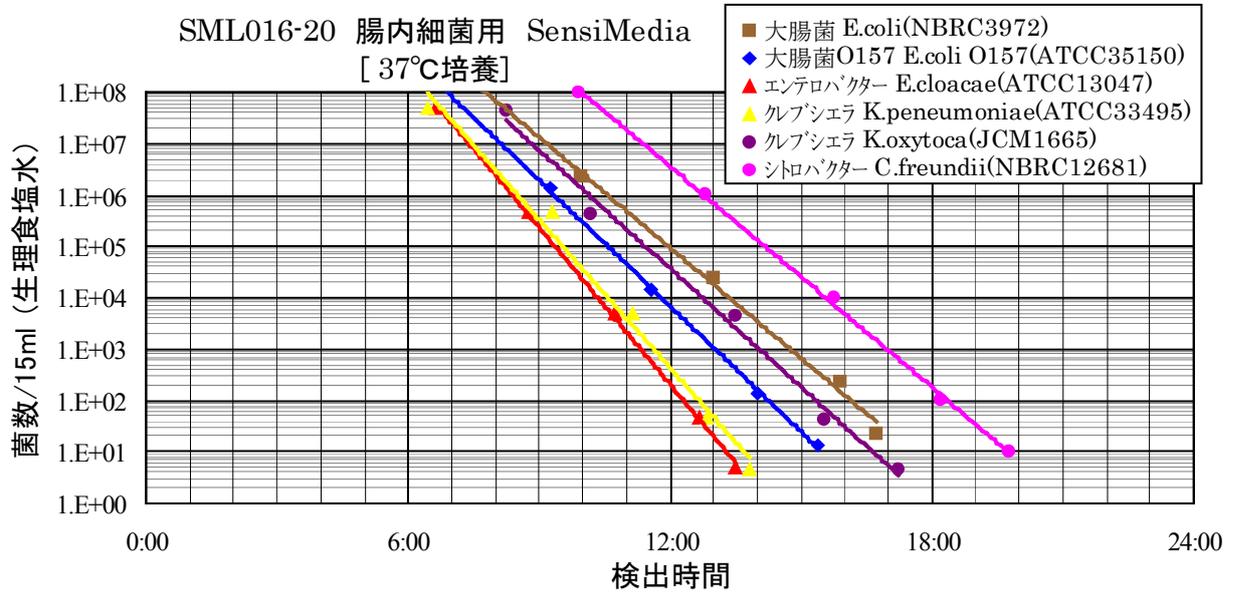


5. 保管方法

暗所で室温保存(20℃以上)して下さい。

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される菌を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。20 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、腸内細菌について通常 陰性と判断できます。陽性のときは、センサーは黄色透明になります。

生理食塩水 試料 15ml 添加



牛乳 試料 15ml 添加

